

第13回なんびょうサポートとちぎのつどい

平成28年10月22日（土）に「第13回なんびょうサポートとちぎのつどい」を開催しました。

当日は、午前の部として相談会及び交流会、午後の部として講演会及びトークショーを実施し、135名の県民の皆様にご参加いただきました。

《午前の部》

◇ 相談会 ◇

医療相談（免疫系疾患）5名、医療相談（内分泌系疾患）5名、就労相談4名、生活福祉相談4名の方々の参加があり、個別相談を行いました。

◇ 交流会 ◇

栃木県難病団体連絡協議会や各患者団体の皆様の御協力をいただき、難病患者、家族交流会を開催しました。45名の方々がグループごとに、日頃の悩みや療養体験等、幅広い意見交換を行いました。



◇ 講演会 ◇

「誰もが配慮し合える共生社会とちぎの実現に向けて」～栃木県障害者差別解消推進条例について～と題し、28年4月から施行された条例に基づき、県民が、障害や障害者に関する理解を深めるとともに、共に支えあう地域社会の実現を目指した取り組み等について栃木県保健福祉部障害福祉課から説明がありました。

◇ トークショー ◇

方言作家の嶋 均三氏による

「方言・愛とユーモア～おかしくて

なつかしくて なみだがでる～」

と題してトークをいただき、会場は終始笑いでいっぱいになり、楽しい時間を過ごすことができました。



結びに、今回参加いただきました県民の皆様、そして関係者の皆様、ボランティアの皆様のおかげをもって、すべての企画を無事終了することができました。改めて感謝申し上げます、本当にありがとうございました。